

2017年8月2日

日本大学 生物資源科学部長殿

特定非営利活動法人 地球生物会議(ALIVE)  
〒160-0008 東京都新宿区三栄町6 オグラビル203号室  
TEL:03-5315-4247/FAX:03-5315-4248  
E-mail: alive-office@alive-net.net  
担当: 藤沢

## 貴大学生物資源科学部における 動物実験の管理状況と代替法の導入状況について 追加質問

先日は当会の質問書(5月1日付「貴大学生物資源科学部における動物実験の管理状況と代替法の導入状況について」)にご回答いただき、誠にありがとうございました。

貴大学のご回答(6月28日付)の中で、当会の以下の質問項目に対して、「致死を目的とした実習は行っていません。」とご回答をいただいておりますが、本件につきまして、追加の質問がありますので、お手数をおかけし誠に申し訳ありませんが、FAXまたはメールでも結構ですので、再度ご回答をいただけないでしょうか。ご回答は8月末日までにいただけますと大変助かりますが、夏休み等で難しいければ、9月中旬まででも結構です。どうぞよろしくお願い申し上げます。(ご回答は公表させていただきますので、ご了承をお願いいたします。)

<当会の質問項目(5月1日)>

5-1. 学生実習において、生きた動物を使った致死性の実習を行うことがありますか? ある場合、実習内容の概要(テーマ)(多い場合は主なもの)と使用動物種をお書きください。

<今回の追加質問> ※貴大学生物資源科学部としてお答えください。

以下のいずれかにあてはまる学生実習はありますか? ある場合、実習内容の概要(テーマ)(多い場合は主なもの)と使用動物種をご教示ください。(動物は小動物も含む脊椎動物とする。)

- ・生きた動物を安楽死させてから死体を用いる実習
- ・動物を処置(実験)後に安楽死させる実習
- ・動物が処置(実験)の最中に死亡する可能性がある実習

以上